

神田警察通りⅠ期工事 イチョウ樹勢調査結果一覧

樹木総元		外観診断					精密・残置診断				
樹木番号	樹種名	部位判定			外観診断判定	(植根境界度 (根上腐害))	腐朽空洞	支持根切断	再根上がり	(地下支障物 (埋設管等))	備考
		根元	幹	大枝							
K001	イチョウ	△	△	△	B1	大		○	○	○	外観診断ではB1判定だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K002	イチョウ	○	△	○	B1	無				○	幹に古傷を巻き込んだ痕があるが、現時点で問題はないため、残置可能。
K003	イチョウ	×	×	△	B2	大	○18%	○		○	開口空洞部を含めると40%近い空洞となる。また、支持根切断の可能性が高く、不健全に近い状態である。そのため残置は不適。
K004	イチョウ	△	△	△	B1	大	○18%	○		○	空洞は18%程度で、倒木する可能性は少ない値ではあるが、内部腐朽は明確である。支持根切断の可能性が高いため残置は不適。
K005	イチョウ	△	△	△	B1	大	○26%	○		○	空洞は26%程度で、調査の波形より心材腐朽が明確であり、腐朽が進行中である。また、支持根切断の可能性が高いため残置は不適。
K006	イチョウ	△	×	△	B2	大	○12%	○		○	空洞は12%程度で、倒木する可能性は低い値ではあるが、内部腐朽も初期段階で発生していると思われる。また、支持根切断の可能性が高いため残置は不適。
K007	イチョウ	○	△	△	B1	中	○10%			○	空洞は10%程度ではあるが、心材腐朽のため、今後定期的に観察を行っていく必要がある。支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K008	イチョウ	△	△	△	B1	中	○13%		○	○	空洞は13%程度ではあるが、心材腐朽のため、今後定期的に観察を行っていく必要がある。5年程度で、根上がりが発生する恐れがある。
K009	イチョウ	△	△	△	B1	無				○	空洞の閉塞痕が見られるが、内部腐朽はなく支持根切断の可能性も低いため、残置可能。
K010	イチョウ	△	×	△	B2	無	○25%			○	空洞は25%程度であるが、心材腐朽は発達中であり、キノコ(チャアナタケモドキ)が着生している。キノコによる腐朽進行は早く、植替えが望ましい(残置は不適)
K011	イチョウ	△	△	△	B1	大		○	○	○	外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K012	イチョウ	○	○	△	B1	大		○		○	外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K013	イチョウ	×	×	△	B2	中				○	樹皮欠損が大きい。診断はB2だが、支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K014	イチョウ	○	△	△	B1	無	○18%			○	空洞は18%程度で、倒木する可能性は少ない値であり、支持根切断の可能性も低いことから、残置可能。
K015	イチョウ	△	△	△	B1	特大		○	○	○	根上がりが非常に大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K016	イチョウ	○	△	△	B1	大		○		○	外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K017	イチョウ	×	×	×	B2	大	○14%	○	○	○	空洞は14%程度で、倒木する可能性は少ない値ではあるが、大きな開口空洞があり支持根を切断する可能性が高いことから、残置は不適。
K018	イチョウ	△	△	△	B1	大		○	○	○	外観診断はB1だが、根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K019	イチョウ	×	△	△	B2	大	○4%	○	○	○	根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高い。また、幹傾斜が大きい。診断はB2だが、支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K020	イチョウ	○	×	△	B2	無				○	樹皮欠損が大きい。診断はB2だが、支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K021	イチョウ	○	△	△	B1	小	○4%			○	現状で根上がりは無く、空洞も4%程度のため、残置可能。
K022	イチョウ	△	○	△	B1	無				○	現状で根上がりは無く、空洞も確認されなかったことから、残置可能。
K023	イチョウ	○	△	△	B1	小			○	○	樹皮欠損は見られるが、根上がりは小さいため、残置可能。5年程度で根上がり発生する恐れがある。
K024	イチョウ	○	○	△	B1	小				○	現状で根上がりは小さく、支持根を切断する可能性が低いため、残置可能。
K025	イチョウ	○	○	△	B1	無				○	現状で根上がりは無く、空洞も確認されなかったことから、残置可能。
K026	イチョウ	×	×	△	B2	無	○8%			○	空洞は8%程度だが、腐朽が発生しており、定期的に観察を行っていく必要がある。支持根切断の可能性は低いため、残置可能。
K027	イチョウ	△	△	△	B1	無				○	樹体のバランスは悪いが、根上がりは無く、空洞も確認されなかったことから、残置可能。
K028	イチョウ	○	○	△	B1	中				○	太枝に腐朽が多くみられるが、それ以外に目立った問題はないため、残置可能。
K029	イチョウ	○	△	○	B1	大		○		○	根上がりが大きく、バリアフリー化の際に支持根を切断する可能性が高いため、残置は不適。
K030	イチョウ	○	○	△	B1	小			○	○	樹木に目立った問題はない。5年程度で根上がり発生する恐れがある。
K031	イチョウ	△	△	△	B1	無				○	幹傾斜はあるが、特に目立った問題はないため、残置可能。
K032	イチョウ	△	○	△	B1	小				○	特に目立った問題はないため、残置可能。

外観診断、部位判定	
○	:A・・・健全か健全に近い
△	:B1・・・被害が見られる
×	:B2・・・著しい被害が見られる

精密・残置診断(%)は腐朽空洞率)	
10%未満	:健全か健全に近い
10%～30%未満	:被害が見られる 倒木の危険は少ないが、要経過観察
30%～50%未満	:著しい被害が見られる 生育環境、形状により倒木の可能性がある。
50%以上	:不健全 倒木の可能性が高い